



2026年8月13日
三井住友DSアセットマネジメント
チーフマーケットストラテジスト 市川 雅浩

市川レポート

日経平均株価の戻り位置をテクニカル分析で確認する

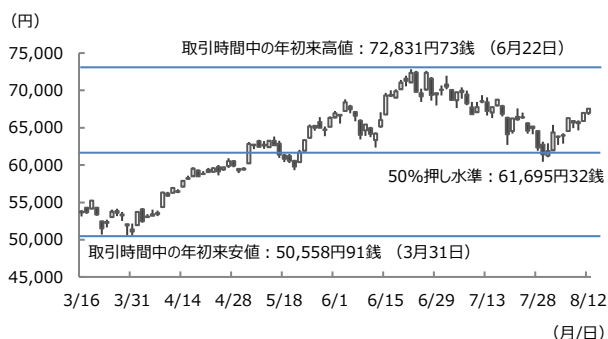
- 日経平均は、6月高値から7月安値まで15.1%下落して調整局面入りしたが、値を戻しつつある。
- 7月29日に日経平均はフィボナッチの50%押し水準に到達し一目均衡表では三役逆転を形成。
- 日足が8月中に先行スパン2でサポートされ先行スパン1を突破した場合、7万円台回復が視野に。

日経平均は、6月高値から7月安値まで15.1%下落して調整局面入りしたが、値を戻しつつある

7月24日付レポート「日経平均株価の立ち位置をテクニカル分析で確認する」では、調整気味の動きが続いていた日経平均株価について、「フィボナッチ・リトレースメント」と「一目均衡表」を用いて下値目途を確認し、「短期的に一段安のリスクを抱えつつも、切り返して上昇する可能性も残っている」と分析しました。今回のレポートでは、同じく2つのテクニカル分析で、その後の動きを検証します。

日経平均は7月24日以降も下落基調が続き、7月29日には終値で61,434円19銭をつけ、一段安となりました。これにより、日経平均は6月25日につけた終値での直近高値72,366円34銭から15.1%下落し、いわゆる「調整局面」入りとなりました。しかしながら、その後は切り返して上昇し、8月12日には67,524円06銭で取引を終え、徐々に値を戻しつつあります。

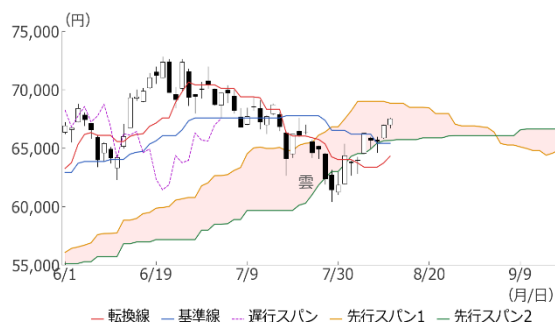
【図表1：日経平均株価のフィボナッチ・リトレースメント】



(注) データは2026年3月16日から8月12日。高値と安値は取引時間中の値。フィボナッチ・リトレースメントは相場が反落（反転）した場合、それまでの安値（高値）から高値（安値）までの上げ幅（下げ幅）から23.6%、38.2%、50.0%、61.8%、76.4%押しした（戻した）水準が押し（戻り）の目安と考える。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【図表2：日経平均株価の一目均衡表】



(注) データは日足で2026年6月1日から8月12日。先行スパン1と先行スパン2は2026年9月16日まで。先行スパン1と2に囲まれた価格帯を雲という。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成



三井住友DSアセットマネジメント

Be
Active.

7月29日に日経平均はフィボナッチの50%押し水準に到達し一目均衡表では三役逆転を形成

まず、フィボナッチ・リトレースメントについて、7月24日付レポートでは、取引時間中につけた3月31日の年初来安値から6月22日の年初来高値までの上げ幅をベースとしました。この上げ幅の50%押しの61,695円32銭が1つの下値目途となりますが（図表1）、日経平均は7月29日、取引時間中に60,448円90銭、終値では前述の61,434円19銭をつけて反転しており、この50%押し水準でいったん底を打ったとみてよいと思われます。

次に、一目均衡表について、7月24日付レポートでは、仮に日経平均が7月中に前述の50%押し水準に達すれば、三役逆転が形成され、強い売りシグナルが点灯する恐れがあると解説しました。実際、日経平均は7月29日に50%押しの水準に達し、一目均衡表では同日、①日足が雲（先行スパン1と2に囲まれた価格帯）の下に位置し、②転換線が基準線を下抜け、③遅行スパンが26日前の日足を割り込み、三役逆転が形成されました（図表2）。

日足が8月中に先行スパン2でサポートされ先行スパン1を突破した場合、7万円台回復が視野に

日経平均は、フィボナッチ・リトレースメントの50%押し水準でサポートされ、7月29日以降、上昇に転じ、8月12日時点で日足は一目均衡表の雲の中まで戻っています。ただ、依然として②転換線が基準線を下抜け、③遅行スパンが26日前の日足を割り込んでいることから、8月中は先行スパン2（17日まで65,700円台、21日まで65,800円台、31日まで66,000円台）によるサポートの成否が注目されます。

一方、先行スパン1は、8月下旬にかけて低下傾向にあるため（本日は68,800円台、8月31日は66,800円台）、日足がここを明確に突破すれば、日足が雲の上に位置することになり、転換線が基準線を、遅行スパンが26日前の日足を、それぞれ上抜け、三役好転が形成される可能性が高まります。三役好転の形成は、強い買いシグナルと解釈されるため、70,000円台回復が視野に入る流れが予想されます。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものであり、投資勧誘を目的として作成されたもの又は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料の内容に関する一切の権利は当社にあります。本資料を投資の目的に使用したり、承認なく複製又は第三者への開示等を行うことを厳に禁じます。■当資料の内容は、当社が行う投資信託および投資顧問契約における運用指図、投資判断とは異なることがありますので、ご了解下さい。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会